



学校だより

令和6年度冬休み号

令和6年12月25日発行

よりよい授業を目指して

校長 村上 卓郎



本号では、日頃の授業の工夫について紹介をします。

★子供の意欲を引き出す授業 ～小学部の国語・算数から～

学習指導要領には「日常生活に必要な国語」「日常生活における人との関わりの中で伝え合う力」など、教科の目標が示されています。

教室には、実際のホットケーキづくりと間違えるようなセッティングが一テーブルに用意され、子供たちは、すぐに「やりたい」という気持ちになっていました。

先生や友達の活動をよく見て、意欲的にホットケーキの「粉」などをボールに入れます。この学びの先には、印まで入れたり、量ったりするなど「実際の数や量の大きさを実測するなどの体験的な活動」があります。他には、複数で協力する中で、友達に「どうぞ」などを伝え合う活動も期待できる授業でした。

★数量的な感覚を豊かにする授業 ～中学部の数学から～

学習指導要領には「生徒の数量的な感覚を豊かにするために、生活の中で数量にかかわる具体的・体験的な活動などに重点を置いて指導に当たる重要性がある」などと示されています。

授業の開始に「姿勢を正す」イラストを視覚的に示すことで、生徒は自分で気持ちを切り替えていました。学習では、実際の買い物を想定し、近々購入をするハンカチやクッキーなどのイラストを「商品コーナー」から選択して先生に伝えます。そして硬貨の種類・枚数を組み合わせての支払いです。品物やおつりを受け取ることを体験的に学び、後日、これらの学びを実際に生かした授業でした。

★2学期のむすびに

2学期は、宿泊行事や水元まつりなど多くの行事が予定され、無事に終わることができました。皆様の御理解・御協力の賜物でございます。ありがとうございました。

3学期もよろしくお願いいたします。校舎増築の件は、随時お伝えしていきます。

保護者向けキャリア教育講演会を終えて

支援部主任 佐藤 美紀

12月17日火曜日、昨年度は台風で悪天候でしたが、今年度は晴天に恵まれ、予定通りに実施することができました。

昨年同様、文教大学教育学部の北川准教授をお招きし、「キャリア教育ってなんだろう？～将来のために、今できることを考える～」を実施しました。キャリア教育を知ることで、自身のお子さんに対しての接し方や家庭内での工夫や考え方を見返したのではないのでしょうか。「千里の道も一歩から」身近なところから着実に始めていくことが大切であるように、一つ知ること一つ道が開けるよう、保護者の方々にとって日々の生活に役立つ講演会をこれからも実施していきたいと考えております。